

恵迪小唄

(平成十九年度寮歌)

井関俊介君 作歌
八城雄太君 作曲

一

金^{かね}がないのが最初^{さいしよ}の縁^{えん}で
入^{はい}つてみたのは良^よいけれど
すみかはボロ屋^やに得^え体の知^しれぬ
上^うの年^{ねん}目^めが一^{ひと}絡^{から}げヤレ
思^{おも}えば遠^とくへ来^きたもんだ

二

大^{たい}志^し抱^{いだ}きて北^{ほく}都^とへ来^きたが
気^き付^づけば朝^{あさ}寝^ねに高^{たか}いびき
自^じ分^{ぶん}は違^{ちが}うと言^いつてはみ^みたが
サア明^{あした}日^{にち}から頑^{がん}張^ばるぞヤレ
朱^{しゆ}に交^{まじ}われ^{あか}ば朱^{しゆ}くなる

三

酒^{さけ}を飲^のみ飲^のみ話^{はな}もすれば
突^{いきなり}然^{なり}ドンパと突^つつ張^ばり合^あい
時^{とき}には突^つき上^あげ時^{とき}には日^ひ和^{より}り
奴^{やつ}より俺^{おれ}の方^{ほう}が上^うヤレ
同^{おな}じ団^{どん}栗^{ぐり}せいくらべ

四

先^{さき}は長^{なが}いと思^{おも}つていても
時^じ間^{かん}の経^たつのは早^{はや}いもの
苦^く楽^{らく}を伴^{とも}に住^すんではいたが
避^さけては通^{とお}れぬ別^{わか}れ道^{みち}ヤレ
縁^{えん}は異^いなもの味^{あじ}なもの